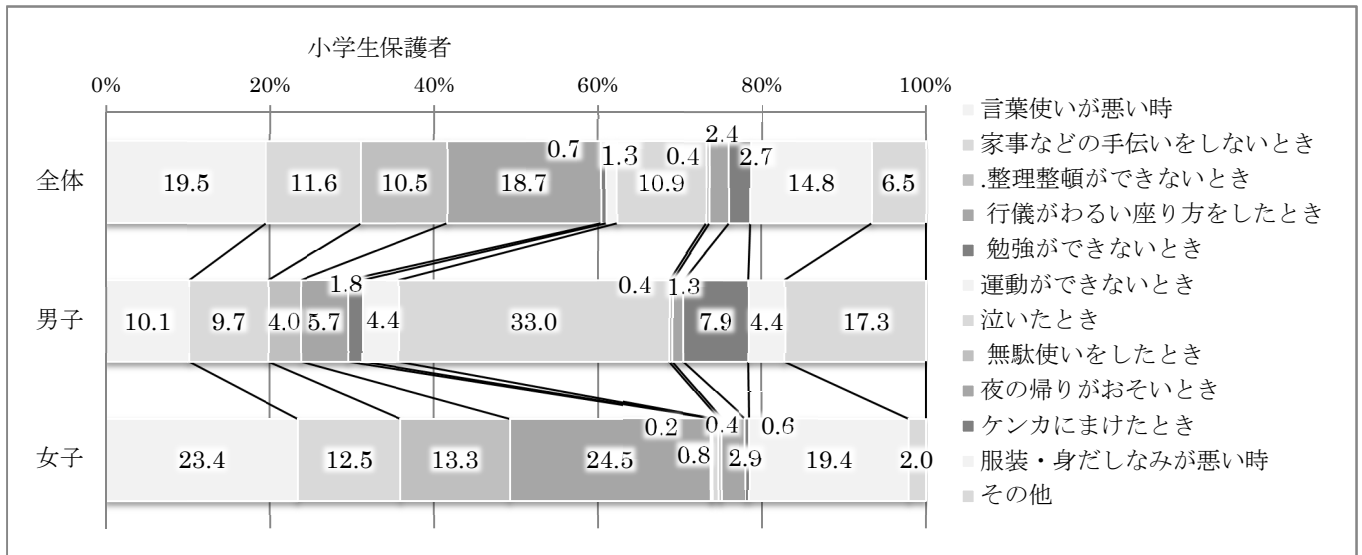


「男・女だから～しなさい」と発言した場面《保護者》

「よく言う」「時々言う」のどちらかに○をつけた人のみお答えください。

どんな場面で言われましたか。(複数回答可)



「男だから～」「女だから～」を「よく言う」「時々言う」答えた人に、どんな場面で言ったのかきいた。

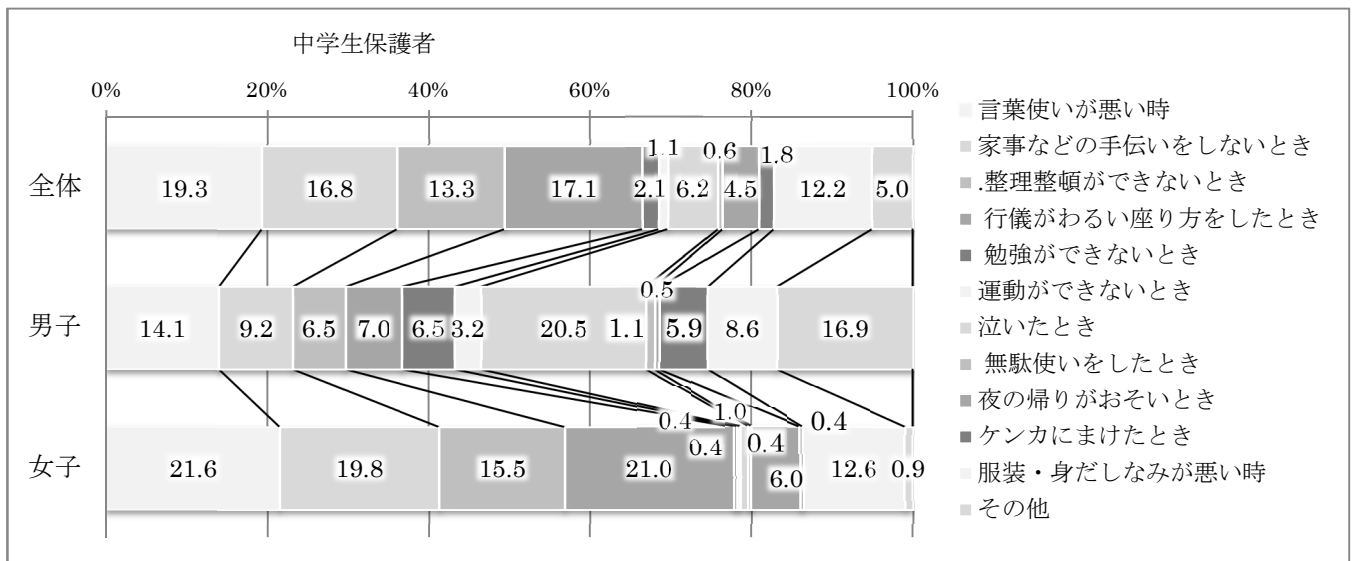
小学生保護者では、「言葉使いが悪いとき」19.5%、「行儀が悪い座り方をしたとき」18.7%、「服装、身だしなみが悪い時」14.8%の順である。

男子に対する上位：1位 泣いたとき 33.0% 2位 その他 17.3% 3位 言葉使いが悪いとき 10.1%

女子に対する上位：1位 行儀が悪い座り方をしたとき 24.5% 2位 言葉使いが悪いとき 23.4%

3位 服装・身だしなみが悪いとき 19.4%

その他の記述として男子は、「弱音を言ったとき」「女の子にやさしくしなかった時」「なよなよした言い方や態度をした時」、女子は、「体を冷やした時」「箸の持ち方が悪い時」「料理・洗濯ができた方がいい」などであった。



中学生保護者では、「言葉使いが悪い時」19.3%、「行儀が悪い座り方をした時」17.1%、「家事などの手伝いをしない時」16.8%の順である。

男子に対する上位：1位 泣いたとき 20.5% 2位 その他 16.9% 3位 言葉使いが悪いとき 14.1%
 女子に対する上位：1位 言葉使いが悪いとき 21.6% 2位 行儀が悪い座り方をしたとき 21.0%
 3位 家事などの手伝いをしないとき 19.8%

その他の記述として、男子には、「虫が出た時」「力仕事をしない時」「我慢強さを欠く時」、女子には、「食べ方が悪い時」などであった。

中学生女子は、小学生に比べて「家事手伝い」が7.3p（小学生12.5%、中学生19.8%）、「整理整頓」が2.2p（小学生13.3%、中学生15.5%）多くなっている。中学生男子は、小学生に比べて「勉強」が4.7p（小学生1.8%、中学生6.5%）、「服装・身だしなみ」が4.2p（小学生4.4%、中学生8.6%）多くなっている。

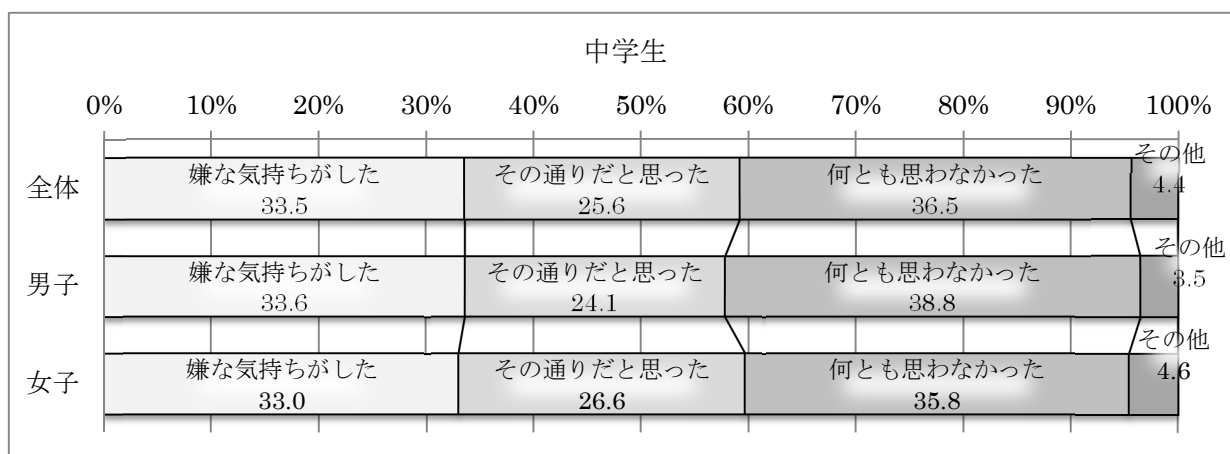
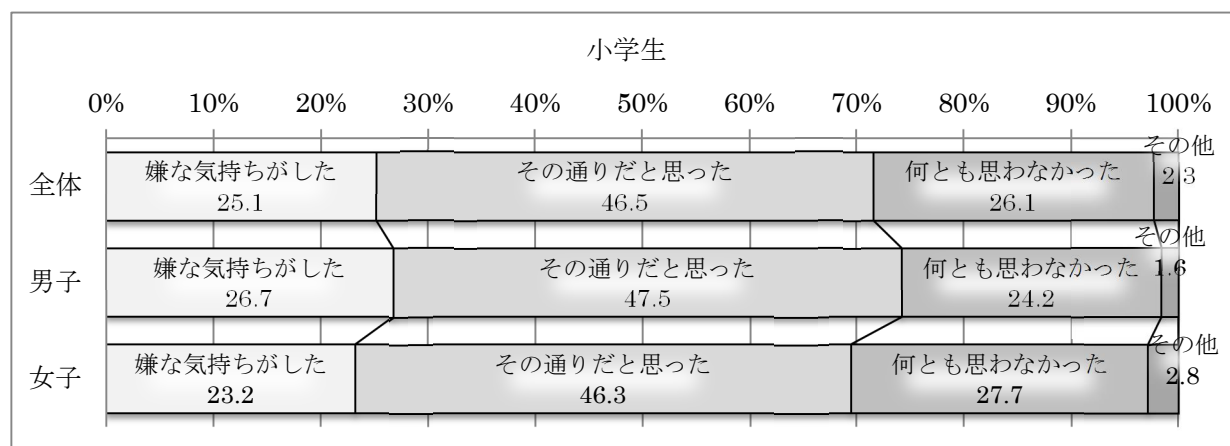
男女差の大きい項目（その他を除く）

- 小学生： 1位 泣いたとき 32.2p(男子>女子)
 2位 行儀が悪い座り方をしたとき 18.8p(男子<女子)
 3位 整理整頓ができないとき 9.0p(男子<女子)
 4位 言葉使いが悪いとき 7.5p(男子<女子)
 5位 勉強ができないとき 6.1p(男子>女子)
- 中学生： 1位 泣いたとき 32.3p(男子>女子)
 2位 家事などの手伝いをしないとき 10.6p(男子<女子)
 3位 整理整頓ができないとき 9.0p(男子<女子)
 4位 言葉使い 7.5p(男子<女子)
 5位 勉強ができないとき 6.1p(男子>女子)

言われた時の気持ち《児童生徒》

「よく言われる」「時々言われる」のどちらかに○をつけた人のみお答えください。

あなたはその時、どんな気持ちがしましたか。



「よく言われる」「時々言われる」と答えた人に、その時どんな気持ちがしたのかきいた。

小学生では、「その通りだと思った」は、46.5%、男子47.5%、女子で46.3%といずれも高かった。「いやな気持ちでした」は、男子26.7%、女子23.2%で、男子が3.5p高い。

「その他」の記述では、「うざい」「むかついた」「力の差かなと思った」などという回答があった。

中学生では、「何とも思わなかった」36.5%、男子38.8%、女子で35.8%といずれも高かった。「嫌な気持ちでした」は、男子が33.6%、女子33.0%で男子が3.6p高い。

「その他」の記述では、「むかついた」「自分もだろうと思った」「うるさい」「うざい」などという回答があった。

男女とも、小学生は言われた4人に1人、中学生は3人に1人が「嫌な気持ちでした」と答え、中学生では増加している。「その通りだと思った」のは、小学生で約半分だが、中学生になると4人に1人程度に低下している。「何とも思わなかった」と、親の小言を聞き流す派が中学生で増加、また、「その他」では、「自分もだろうと思った」など、保護を批判的にみる成長をうかがわれる回答もみられた。

「男だから～」「女だから～」のアンケート結果から、次のような疑問があがった。

疑問1) なぜ女子の方が男子より「女だから～」と言われることが多いのか？

→子どもの嫉は主に女性の仕事であるため、母親と祖母の発言回数がそもそも多いことに加え、女子が女子らしくないのは母親と祖母のせいだと思われることを恐れているのか？

(男子が男子らしくないのは、ロールモデルとしての父親のせいにしやすい？)

→女子の身体的発達が早いので、自己防衛のため自覚を促している？

(行儀の悪い座り方、身だしなみ、夜の帰り)

→母と祖母は自分たちの“女の仕事”を分担する労働者として、女子に期待している？

(家事手伝い、整理整頓)

疑問2) なぜ保護者は「男・女らしく」と願うのか？

→「男・女らしく」あることのメリットを実感している？

→実利の問題というより、「男・女らしく」あるのが良いという“刷り込み”が強く働いているためであるとすれば、その“刷り込み”はどこからきたのか？どうすれば解放できるのか？

疑問3) 「男・女らしく」の発言は子どもたちにどんなインパクトを与えるか？

→感情の発露に制限を加える、男子に対しての「泣くな」のメッセージは、男子の成長にどのようなインパクトを与えるか？

→人として好ましい言動の“型”を、男女で振り分けて要求することで起こる問題は？

(家事を手伝うこと、行儀の良さ、運動ができること等は誰であれ望ましいはず)

